

令和 3 年度  
全国学力・学習状況調査結果  
～概要と課題、そして改善に向けて～

令和3年12月  
稚内市教育委員会

# 目 次

1	調査の概要	1
2	調査結果	3
	(1) 学力調査（調査問題）	3
	① 小学校国語	3
	② 小学校算数	6
	③ 中学校国語	10
	④ 中学校数学	12
	(2) 学習状況調査（質問紙調査）	15
	(3) 質問紙調査票の項目と正答率との関係	21
	(4) 学校調査（質問紙調査）	22
3	小中学校の状況及び学力向上策	28

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

- ① 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することにより、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 各教育委員会や学校等が、全国的な状況との関係において、教育及び教育施策の成果と課題を把握・分析し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ③ 各学校が、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

### (2) 調査の対象とする児童生徒

稚内市立学校の以下の学年を、原則として全児童生徒を対象に実施した。

【小学校調査】 小学校第6学年

【中学校調査】 中学校第3学年

### (3) 調査事項及び手法

#### ① 教科に関する調査（国語、算数・数学）

- ・身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※上記を一体的に問う。

#### ② 質問紙調査

[児童生徒に対する調査]

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

[学校に対する調査]

指導方法等に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

### (4) 調査日時・回答児童生徒数

令和3年5月27日（木）

【小学校調査】

1 時限目	2 時限目	
222 名	222 名	222 名
国語 (45 分)	算数 (45 分)	児童質問紙

【中学校調査】

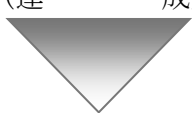
1 時限目	2 時限目	
243 名	243 名	243 名
国語 (50 分)	数学 (50 分)	生徒質問紙

(5) 留意事項

本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況を把握することを目的として実施しておりますが、実施教科が特定の教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことから、本調査の結果については、児童生徒が身につけるべき学力の特定の一部分であることに留意することが必要です。

本調査の結果については、個々の設問や領域等に着目して学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人ひとりの学習改善や学習意欲の向上につなげることが重要です。

調査結果の分析については、本市の正答率によって、次のとおり整理しています。

正答率 80%以上	★★★★★	(達成)
60%以上 80%未満	★★★★	
50%以上 60%未満	★★★	
50%未満	★	

また、全国の正答率に加え、さらに本市との比較を次のとおり表記しています。

全国の正答率に対し、

5ポイントを超えて低い	▼▼	(下回っている)
5ポイント以内のマイナス	▼	(ほぼ同程度-やや下回っている)
5ポイント以内のプラス	△	(ほぼ同程度-やや上回っている)
5ポイントを超えて高い	△△	(上回っている)

質問紙調査では、「している」「どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合が80%を超えたものを「高い傾向」、60%未満のものを「低い傾向」と分類しています。

令和3年度全国学力・学習状況調査の調査問題と質問調査の内容は、国立教育政策研究所のホームページに掲載されています。

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

## 2 調査結果

### (1) 学力調査（調査問題）

#### ① 小学校国語

#### 【学習指導要領の領域別集計結果】

区 分	正答率 (%)		
	稚内市	全国	全国との比較
言語事項	★★★★	68.3	△
話すこと・聞くこと	★★★	77.8	▼▼
書くこと	★★	60.7	▼
読むこと	★	47.2	▼▼

#### 【設問別集計結果】

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
1一	津田梅子の二つの業績を明確に伝えるために、【スピーチメモ】と【スピーチ】の練習で上野さんが話した構成の説明として適切なものを選択する	目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える	★★★	77.5	▼
1二	津田梅子についての【スピーチ】の練習で、<資料②>と<資料③>を使った理由の説明として適切なものを選択する	資料を用いた目的を理解する	★★★	74.9	▼▼
1三	津田梅子についての【スピーチ】の練習の□の部分で話す内容として適切なものを選択する	目的や意図に応じ、資料を使って話す	★★★★	81.0	▼▼
2一	面ファスナーに関する【資料】の文章が、何について、どのように書かれているかの説明として適切なものを選択する	文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する	★★★★	77.6	▼
2二	面ファスナーに関する【資料】の文章の中の「より」と同じ使い方として適切なものを選択する	思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う	★★★★★	87.5	▼
2三	面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントにどのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く	目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける	★	34.4	▼▼
2四	面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する	★	29.7	▼▼

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
3一	丸山さんの【文章の下書き】の構成についての説明として適切なものを選択する	自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える	★★★	64.8	▼
3二	丸山さんの【文章の下書き】の-----部を【西田さんの話】を用いて詳しく書き直す	目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する	★★	56.6	△
3三 (1)	丸山さんの【文章の下書き】の中の-----部アを、漢字を使って書き直す (ころがっている)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	★★★★★	78.4	△△
3三 (1)	丸山さんの【文章の下書き】の中の-----部ウを、漢字を使って書き直す (つみ重ね)		★★	54.4	△△
3三 (1)	丸山さんの【文章の下書き】の中の-----部エを、漢字を使って書き直す (げんいん)		★★★	79.0	▼▼
3三 (2) イ	丸山さんの【文章の下書き】の中の-----部イで、~~部「残されています」の主語として適切なものを選択する	文の中における主語と述語との関係をとらえる	★★★	67.0	△
3三 (2) オ	丸山さんの【文章の下書き】の中の-----部オで、~~部「すぐに」がくわしくしている言葉として適切なものを選択する	文の中における修飾と被修飾との関係をとらえる	★	43.6	△

### 【下位層の割合】

区 分	正答数	全国の下位約 25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合 (%)			
		稚内市	全国	全国との比較	
平成 29 年度	A (知識)	15 問中 9 問以下	22.5	21.3	1.2
	B (活用)	9 問中 3 問以下	27.2	23.2	4.0
平成 30 年度	A (知識)	12 問中 6 問以下	27.9	22.0	5.9
	B (活用)	8 問中 2 問以下	24.8	18.6	6.2
平成 31 年度		14 問中 6 問以下	29.8	23.5	6.3
令和 2 年度		中 止	—	—	—
令和 3 年度		14 問中 7 問以下	35.8	29.0	6.8

## 【全国平均を超えた設問】

目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う(3問中2問)

文の中における主語と述語との関係をとらえる

文の中における修飾と被修飾との関係をとらえる

## 【課題と改善点】

資料を用いた目的を理解する

- スピーチで特に伝えたい内容について、要点をまとめて資料で示していることを捉えることができていない。

目的や意図に応じ、資料を使って話す

- 資料に整合する説明を加えて話すことや、話す目的や意図を捉えることに課題がある。

《学習指導にあたって》

資料を利用する目的は、音声言語だけでは理解しにくかったり誤解を招きそうだったりする場合に正確な理解を促す、説明を補足する、伝えたいことを強調する、新たな興味を持ってもらうことなどが考えられる。資料としては、文言や数値の引用、実物や画像、映像などの使用、図解したものや重要な語句の定義付けなどの明示が挙げられる。

スピーチやプレゼンテーションをする際は、目的や意図に応じて、どのような資料を準備し、どのように使うかということを確認にすること、より効果的な提示資料の順番やタイミングなどがあることを理解し自ら判断できるように指導することが大切である。情報収集の際に集めた資料から必要な資料を的確に取捨選択できるようにすることも大切である。

なお、資料を提示する際や、発表の振り返りの際に、ICTを活用すると効果的である。

目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける

- 文章と図表を関連づけ必要な情報を見付けて読むことに課題がある。特に文章から必要な情報を見付けることはできているが、図から必要な情報を見付けたり、見付けた情報を言葉に表したりすることができていない。

《学習指導にあたって》

必要な情報は目的に応じて変わるため、読む目的を確認にすることが必要である。図表やグラフなどを含む文章から必要な情報を見付けるには、文章中に用いられている図表などが、文章のどの部分と結びつくのかを明らかにした上で、文章と図表などの関係を捉えて読むことができるようにすることが大切である。その際、図表からも必要な情報を見付けたり、見付けた情報を言葉に表したりする活動も取り入れることが必要である。

目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する

- 文章全体の内容を正確に把握した上で、面ファスナーのよさについて必要な情報を見付けることができていない。

《学習指導にあたって》

文章を要約するためには、目的に応じて文章全体から必要な部分を選び、内容を端的に説明することが大切である。その際、要約する分量についても目的に応じて考えさせることが必要である。

② 小学校算数

【学習指導要領の領域別集計結果】

区 分	正答率 (%)		
	稚内市	全国	全国との比較
数と計算	★★	63.1	▼▼
図形	★★	57.9	▼▼
測定	★★★	74.8	▼
変化と関係	★★★	75.9	▼
データの活用	★★★	76.0	▼▼

【設問別集計結果】

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
1 (1)	二つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く	二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる	★★	62.5	▼▼
1 (2)	500mを歩くのに7分間かかることを基に、1000mを歩くのにかかる時間を書く	速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる	★★★	86.7	△
1 (3)	アとイの二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ	速さを求める除法の式と商の意味を理解している	★	55.8	▼▼
1 (4)	午後1時35分から50分後の時刻を書く	条件に合う時刻を求めることができる	★★★★	89.2	▼▼
1 (5)	分速540mのバスが2700mを進むのにかかる時間を求める式を書く	速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができる	★★★★	85.1	▼
2 (1)	直角三角形の面積を求める式と答えを書く	三角形の面積の求め方について理解している	★	55.1	▼▼
2 (2)	直角三角形を組み合わせた図形の面積について分かることを選ぶ	複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる	★★★	72.5	△
2 (3)	二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く	複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる	★	46.0	▼▼
3 (1)	6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読みとって選ぶ	棒グラフから、数量を読み取ることができる	★★★★	95.8	△



設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
3 (2)	学年ごとの本の貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ	棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる	★★★★	90.7	▼
3 (3)	「114」は二次元の表のどこに入るかを選ぶ	データを二次元の表に分類整理することができる	★★	67.5	▼▼
3 (4)	帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く	帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる	★	52.0	▼▼
3 (5)	5年生と6年生の読みたい本と、多くの5年生と6年生に読まれている本を調べるために、適切なデータを選ぶ	集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができる	★★	73.9	▼▼
4 (1)	余りのある除法の商と余りを基に、23個のボールを6個ずつ箱に入れていくときに必要な箱の数を書く	示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる	★★★★	83.0	▼▼
4 (2)	8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量を求める式と答えを書く	商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる	★	55.5	▼▼
4 (3)	30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く	小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としてときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できる	★★	51.5	▼

### 【下位層の割合】

区分	正答数	全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合 (%)			
		稚内市	全国	全国との比較	
平成29年度	A (知識)	15問中10問以下	32.7	27.3	5.4
	B (活用)	11問中3問以下	35.6	30.5	5.1
平成30年度	A (知識)	14問中6問以下	32.2	24.3	7.9
	B (活用)	10問中2問以下	32.3	19.6	12.7
平成31年度		14問中6問以下	29.4	19.5	9.9
令和2年度		中止	—	—	—
令和3年度		16問中9問以下	41.7	28.7	13.0

### 【全国平均を超えた設問】

速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察する

複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べる

棒グラフから、数量を読み取る

### 【全国平均とほぼ同じ設問】

小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1として

ときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できる

### 【課題と改善点】

速さを求める除法の式と商の意味を理解している

- 速さを求める式の意味は理解できているが、求めた商の意味が理解できていない。

《学習指導にあたって》

速さを比較するには、道のりと時間のどちらを単位量として設定しているのかについて考え、速さを求める除法の式と商の意味を理解できるようにすることが重要である。指導にあたっては、児童の日常生活の場面と関連付けて速さのイメージを具体的にもつことができるようにしたり、図や数直線を用いるなどして道のりと時間の関係を捉えさせ、どちらを単位量として求めているのか理解させたりすることが大切である。また、速さを比べる日常の場面から、数値が大きい方が速いのか、小さい方が速いのかについて調べようとする態度を養うことも大切である。

三角形の面積の求め方について理解している

- 三角形の面積を求める公式について理解していない。また、示されたすべての辺の長さに着目して立式し、必要な情報を選び出すことができていない。

《学習指導にあたって》

図形の面積の求め方を理解するとともに、求める際に必要な情報を図形から選び出すことができるように指導する。公式を用いる上で不要な辺や線分の長さを示した図を提示し、求積のために必要な情報を選び出す活動が考えられる。

複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の

構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる

- 二等辺三角形を構成する要素などから、必要な情報を選び出すことができていない。また、平行四辺形の面積を求める公式を用いることができていない。

《学習指導にあたって》

複数の図形を組み合わせた図形の面積を求めるためには、辺の長さや高さ、図形を構成する要素などに着目して図形の構成の仕方を捉え、必要な情報を選び出すことができるようにすることが重要である。その際、面積を求める図形の辺の長さや位置関係、分かっている図形の辺の長さや位置関係を捉え、面積の求め方について筋道を立てて説明することができるようにすることが大切である。

等積変形や、合同な図形を組み合わせて平行四辺形に変形して、台形の面積を求める公式を導く活動を行う際には、変形後の図形の底辺や高さ、元の台形の辺や高さとの対応に着目できるようにする。また、平行四辺形の面積を求める公式を導く際は長方形に等積変形をして面積を求める活動が考えられるが、高さは底辺に垂直になっていることに着目できるように、底辺とそれに対応する高さに印を付けるなどして、底辺と高さの位置関係を意識できるようにする。

帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる

- 「割合の違いが大きい」を「割合が大きい」と捉えるなど、設問の意味を正しく理解できていない。他には、複数のデータを比較して示された特徴をもった項目を捉えられない、記述することなどに課題がある。

《学習指導にあたって》

複数のデータについて、項目の割合を比較するために、帯グラフからそれぞれの割合を読み取ることができるようにすることが重要である。また、各項目の特徴や傾向を読み取ることができるようにするのも重要である。

複数のデータから読み取ったことを伝え合う活動が考えられるが、その際、一つの項目から複数の情報を読み取ったり、データの特徴や傾向を読み取るために帯グラフのどの部分に着目したのかななどを説明できるようにしたりすることが大切である。

なお、集めたデータを分析する際、データの種類や項目の数を考え、目的に応じて、既習の表やグラフから適切なものを選択して表してみることで、データの特徴や傾向を捉え、結論について判断・多面的に考察できるようにすることも大切である。

商が1より小さくなる等分除（整数） $\div$ （整数）の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる

- 何が被除数で、何が除数かを捉えて立式することができず、除法が（大きい数） $\div$ （小さい数）であると捉えていたり、問題文の数値の順序通りに立式したりしている。

《学習指導にあたって》

「8人に4Lのジュースを」を「4Lのジュースを8人に」と問題文に示されている数値の順番を替えて言い換えたり、 $4 \div 8 = 0.5$ という立式の理由を解釈する場面を通して問題場面に対応した式について話し合ったりすることが重要である。その際、具体物を操作したり、絵や図を使って表したりしながら、「なぜその式になるといえるのか」について理由を説明できるようにすることが大切である。

③ 中学校国語

【学習指導要領の領域別集計結果】

区 分	正答率 (%)		
	稚内市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	★★★★	79.8	△
書くこと	★★	56.9	▼
読むこと	★	48.2	▼
伝統的な言語文化と国語の特質	★★★	75.2	▼

【設問別集計結果】

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
1一	話し合いでの司会の発言の役割について説明したのとして適切なものを選択する	話し合いの話題や方向を捉える	★★★★	89.7	▼
1二	話し合いでの発言について説明したのとして適切なものを選択する	質問の意図を捉える	★★★★	92.5	△
1三	参加者の誰がどのようなことについて発言するとよいかと、そのように考えた理由を書く	話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える	★★	57.1	△
2一	意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く	★	24.8	▼
2二	意見文の下書きの構成の工夫について、自分の考えを書く	書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える	★★★	74.5	△
3一	「呼吸をのみ込んだ」の意味として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する	★	43.7	▼
3二	「喝采してやる」と「とった」のそれぞれについて、誰の動作なのかを選択する	場面の展開、登場人物の心情や行動に中止して読み、内容を理解する	★★	58.7	△
3三	「反対の結果を呈出した」について、このことが分かる「黒」の様子を文章の中から抜き出す	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する	★★★	71.0	▼
3四	「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしてやるかや、そのような接し方をどう思うかを書く	文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ	★	20.5	▼
4一①	漢字を読む (伸ばして)	文脈に即して漢字を正しく読む	★★★★	97.5	△
4一②	漢字を読む (詳細)		★★★★	88.8	△

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
4二	「随時」の意味として適切なものを選択する	事象や行為などを表す多様な語句について理解する	★★★★	74.0	▼▼
4三	「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する	相手や場面に応じて敬語を適切に使う	★	40.3	▼
4四	事前に確かめておきたいことについて相手に失礼のないように書く	伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く	★★★★	71.9	▼

### 【下位層の割合】

区分	正答数	全国の下位約 25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合 (%)			
		稚内市	全国	全国との比較	
平成 29 年度	A (知識)	32 問中 21 問以下	41.7	23.2	18.5
	B (活用)	9 問中 5 問以下	31.0	27.8	3.2
平成 30 年度	A (知識)	32 問中 21 問以下	31.8	23.2	8.6
	B (活用)	9 問中 3 問以下	27.2	17.5	9.7
平成 31 年度		10 問中 5 問以下	22.4	21.4	1.0
令和 2 年度		中止	—	—	—
令和 3 年度		14 問中 7 問以下	28.3	27.5	0.8

### 【全国平均を超えた設問】

質問の意図を捉える

話合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える

書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える

場面の展開、登場人物の心情や行動に中止して読み、内容を理解する

文脈に即して漢字を正しく読む

### 【全国平均とほぼ同じ設問】

話合いの話題や方向を捉える

文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ

### 【課題と改善点】

事象や行為などを表す多様な語句について理解する

- 「随時」「他時」「漸次」「暫時」などの語句の意味が理解できていない。

《学習指導にあたって》

事象や行為などを表す多様な語句については、生活の中の様々な場面や状況に応じて、適切に使うことができるように指導することが大切である。他者とやりとりする場面（電子メール、手紙や電話等）を設定し、目的や意図に応じた適切な表現について考える活動が考えられる。その際、辞書を活用して似た意味を持つ語句を調べたり、複数の語句を比べてどれがふさわしい表現かを検討したりすることも効果的である。

## ④ 中学校数学

## 【学習指導要領の領域別集計結果】

区 分	正答率 (%)		
	稚内市	全国	全国との比較
数と式	★★	64.9	▼▼
図形	★	51.4	▼▼
関数	★★	56.4	▼
資料の活用	★	53.8	▼

## 【設問別集計結果】

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
1	$(5x+6y) - (3x-2y)$ を計算する	整数の加法と減法の計算ができる	★★★★	77.1	▼▼
2	数量の関係を一元一次方程式で表す	具体的な場面で、一元一次方程式をつくることのできる	★★★★	71.3	▼▼
3	中心角 $60^\circ$ の扇形の弧の長さについて正しいものを選ぶ	扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解している	★★★★	68.1	▼▼
4	経過した時間と影の長さの関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	関数の意味を理解している	★	48.0	▼▼
5	反復横とびの記録の中央値を求める	与えられたデータから中央値を求めることができる	★★★★★	84.5	▼
6 (1)	四角で囲んだ4つの数が12, 13, 17, 18のとき、それらの和が4の倍数になるかどうかを確かめる式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	★★★★	83.9	▼▼
6 (2)	四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる	★	61.8	▼▼
6 (3)	四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であることを説明する	数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる	★	30.3	▼▼
7 (1)	与えられた表やグラフから、砂の重さが75gのときに、砂が落ちきるまでの時間が36.0秒であったことを表す点を求める	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる	★★★★★	93.5	▼
7 (2)	与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	★	27.7	△

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
8 (1)	気温差が9℃以上12℃未満の階級の度数を書く	ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることができる	★★★	83.0	▼▼
8 (2)	2つの分布の傾向を比べるために相対度数を用いることの前提となっている考えを選ぶ	相対度数の必要性和意味を理解している	★	36.8	▼
8 (3)	「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	★	11.1	▼▼
9 (1)	四角形ABCDが平行四辺形になることを、平行四辺形になるための条件を用いて説明する	平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明することができる	★	44.3	▼▼
9 (2)	錯角が等しくなることについて、根拠となる直線FEと直線BCの関係を、記号を用いて説明する	錯角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解している	★★★	64.3	▼
9 (3)	$\angle ARG$ や $\angle ASG$ の大きさについていつでもいえることを書く	ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができる	★	28.8	▼

### 【下位層の割合】

区 分		正答数	全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
平成29年度	A (知識)	36問中17問以下	33.9	25.2	8.7
	B (活用)	15問中4問以下	32.9	22.5	10.4
平成30年度	A (知識)	36問中17問以下	34.6	23.3	11.3
	B (活用)	14問中3問以下	32.3	22.8	9.5
平成31年度		16問中5問以下	27.8	20.5	7.3
令和2年度		中 止	—	—	—
令和3年度		16問中6問以下	36.0	25.1	10.9

### 【全国平均を超えた設問】

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる

### 【全国平均とほぼ同じ設問】

錯角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解している

### 【課題と改善点】

関数の意味を理解している

- 関数の意味の理解について課題がある。また、独立変数と従属変数の違いを区別できていない。

《学習指導にあたって》

日常的な事象の中にある二つの数量の変化や対応の様子を調べ、それらの関係を見いだす活動を通して、関数の意味を理解できるように指導することが重要である。その際、独立変数と従属変数を違いが意識できるよう「…は…の関数である」という形で表現できるよう留意する。

また、身の回りにある事象を関数関係として捉えたり、その事象の考察に活かしたりしようとする態度を養うことが大切である。

目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる

- 具体的な事象の数量関係を文字を用いた式に表したり、目的に応じて式を変形したりできているが、事柄が成立する理由の捉えが不十分なため、条件を満たすように説明をすることができない。

数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる

- 具体的な事象の中に数量の関係を見いだして解釈すること、事柄の特徴を数学的に説明することに課題がある。

《学習指導にあたって》

数に関する事象を考察する場面では、成り立ちそうな事柄を予想し、予想を確かめ、事柄が成り立つ理由について筋道を立てて考え説明すること、さらに、問題の条件を変えるなどして、異なる複数の事象をある観点から捉え共通点を見いだしたり、考察の範囲を広げて考え新しい知識や理解を得られるようにしたりすることが大切である。その際、事柄が一般的に成り立つ理由を文字式や言葉を用いて根拠を明らかにできるように指導すること、事柄の特徴を、例えば、「四角で囲んだ4つの数の和は、左上の数と右下の数の和の2倍である」のように数学的に説明できるようにすることが大切である。

データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる

- データの傾向を的確に捉えること、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

《学習指導にあたって》

データの分布の様子を捉える場面を設定し、データの傾向を的確に捉えて判断できるように指導することが大切である。「説明」に課題が見られるため、見いだした分布の特徴から結論を言うためにふさわしい根拠となるものを取り上げ、判断したこととその理由について説明する活動を取り入れることが重要である。

平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明することができる

- 根拠として用いる、2組の向かい合う辺の相等、2組の向かい合う角の相等を明示することができない。

《学習指導にあたって》

観察や操作、実験などの活動を通して成り立つと予想される事柄を見いだし、それが成り立つことを説明するためには、何を示せばよいかを明らかにし、着目すべき性質や関係性を見いだす活動を取り入れ、根拠を明確にして説明できるように指導する。



(2) 学習状況調査(質問紙調査)

① 小学校児童質問紙調査

○「高い傾向」を示した質問項目

設問 番号	質問事項	稚内市	全国	差
(11)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.7	96.8	0.9
(28)	学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	97.3	94.5	2.8
(12)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.4	95.5	0.9
(16)	友達と協力するのは楽しいと思いますか	96.4	93.9	2.5
(36)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	95.9	95.5	0.4
(30)	あなたは、家でどれくらい日本語を話しますか	94.6	96.9	▲2.3
(44)	国語の勉強は大切だと思いますか	93.3	93.2	0.1
(58)	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	92.3	89.0	3.3
(55)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.5	92.6	▲1.1
(59)	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	91.4	91.9	▲0.5
(53)	算数の勉強は大切だと思いますか	91.0	93.8	▲2.8
(46)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	88.8	91.8	▲3.0
(1)	朝食を毎日食べていますか	88.7	94.9	▲6.2
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	88.7	90.4	▲1.7
(31)	5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか	86.0	82.6	3.4
(35)	5年生までに受けた授業は、自分に合った考え方、教材、学習時間などになっていましたか	86.0	81.4	4.6
(42)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	85.5	81.1	4.4
(17)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	85.1	74.0	11.1
(45)	国語の授業の内容はよく分かりますか	85.1	84.2	0.9
(10)	人が困っているときは、進んで助けていますか	84.2	88.7	▲4.5
(62)	5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか	83.7	74.6	9.1
(8)	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	82.9	84.3	▲1.4
(61)	英語の勉強は好きですか	81.9	68.3	13.6
(33)	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	81.6	78.2	3.4
(57)	算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	81.5	82.7	▲1.2
(54)	算数の授業の内容はよく分かりますか	80.6	84.6	▲4.0

●「低い傾向」を示した質問項目

設問番号	質問事項	稚内市	全国	差
(63)	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか	31.5	44.4	▲12.9
(25)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	49.6	52.4	▲2.8
(66)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか	52.2	63.1	▲10.9

□その他

質問(18)：学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わってる時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

区分	3時間以上	2時間以上, 3時間より少ない	1時間以上, 2時間より少ない	30分以上, 1時間より少ない	30分より少ない	全くしない
稚内市	2.3	7.2	61.7	23.9	3.2	1.8
全国	11.6	15.3	35.6	24.5	9.5	3.5

質問(21)：学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

区分	2時間以上	1時間以上, 2時間より少ない	30分以上, 1時間より少ない	10分以上, 30分より少ない	10分より少ない	全くしない
稚内市	5.9	8.6	16.2	18.0	15.8	35.6
全国	7.4	10.8	19.2	23.8	14.7	24.0

質問(22)：あなたの家には、およそどれくらい本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）

区分	0～10冊	11～25冊	26～100冊	101～200冊	201～500冊	501冊以上
稚内市	17.1	21.2	32.0	13.5	14.0	2.3
全国	11.1	18.9	33.7	19.2	12.1	4.9

質問(23)：新聞を読んでいますか

区分	ほぼ毎日読んでいる	週に1～3回程度読んでいる	月に1～3回程度読んでいる	ほとんど、又は、全く読まない
稚内市	3.6	10.4	20.7	65.3
全国	5.1	9.7	14.7	70.4

質問(51)：今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか

区分	全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した	書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたものがあった	書く問題は全く解答しなかった
稚内市	78.8	18.0	2.7
全国	81.3	16.2	1.8

質問(60): 今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。

それらについてどのように解答しましたか

区分	全ての書く問題で最後まで解答 を書こうと努力した	書く問題で解答しなかったり、解 答を書くことを途中で諦めたり したものがあつた	書く問題は全く解答しなかつた
稚内市	70.3	26.6	1.8
全 国	79.9	17.9	1.5

※「□その他」の質問は、回答に「その他」、「無回答」がある場合、割合の合計が100%とならないことがあります。

② 中学校生徒質問紙調査

○「高い傾向」を示した質問項目

設問 番号	質問事項	稚内市	全国	差
(30)	あなたは、家でどれくらい日本語を話しますか	95.9	96.3	▲0.4
(12)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.0	95.0	0.0
(36)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	94.6	96.5	▲1.9
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.9	92.7	1.2
(11)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	93.8	95.9	▲2.1
(44)	国語の勉強は大切だと思いますか	91.7	91.6	0.1
(28)	学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	91.4	93.2	▲1.8
(16)	友達と協力するのは楽しいと思いますか	91.0	93.3	▲2.3
(1)	朝食を毎日食べていますか	90.1	92.8	▲2.7
(42)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	90.1	86.2	3.9
(46)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	88.5	88.7	▲0.2
(59)	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	88.1	86.6	1.5
(58)	数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	85.2	83.5	1.7
(53)	数学の勉強は大切だと思いますか	84.3	84.1	0.2
(10)	人が困っているときは、進んで助けていますか	83.9	88.5	▲4.6
(8)	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	83.1	84.2	▲1.1
(33)	1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいましたか	82.7	81.0	1.7
(45)	国語の授業の内容はよく分かりますか	81.5	8.1	1.4
(31)	1, 2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか	81.4	83.7	▲2.3
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	81.1	79.8	1.3
(69)	解答時間は十分でしたか(数学)	80.7	80.5	0.2

●「低い傾向」を示した質問項目

設問番号	質問事項	稚内市	全国	差
(65)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか	30.9	37.6	▲6.7
(63)	これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使い機会が十分にありましたか	31.7	34.8	▲3.1
(66)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか	41.2	48.4	▲7.2
(25)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	43.6	43.8	▲0.2
(56)	数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	44.0	50.6	▲6.6
(52)	数学の勉強は好きですか	52.3	59.1	▲6.8
(61)	英語の勉強は好きですか	55.5	56.7	▲1.2
(34)	1, 2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えにまとめたり、思いや考えをもとに新しいもの作り出したりする活動を行っていましたか	57.6	59.5	▲1.9

□その他

質問(18)：学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わってる時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

区分	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	30分より少ない	全くしない
稚内市	4.1	15.2	35.8	22.6	15.6	6.2
全国	12.3	29.5	34.1	14.1	6.4	3.5

質問(21)：学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

区分	2時間以上	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	10分以上、30分より少ない	10分より少ない	全くしない
稚内市	6.6	7.8	13.6	13.6	13.2	45.3
全国	5.5	8.6	14.8	21.2	12.4	37.4

質問(22)：あなたの家には、およそどれくらい本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）

区分	0～10冊	11～25冊	26～100冊	101～200冊	201～500冊	501冊以上
稚内市	21.0	16.5	28.0	16.5	11.9	6.2
全国	14.6	19.8	31.5	17.2	12.2	4.5

質問(23)：新聞を読んでいますか

区分	ほぼ毎日読んでいる	週に1～3回程度読んでいる	月に1～3回程度読んでいる	ほとんど、又は、全く読まない
稚内市	4.9	11.9	17.7	65.0
全国	3.4	7.0	12.6	76.7

質問(51)：今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか

区分	全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した	書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた	書く問題は全く解答しなかった
稚内市	72.4	23.5	4.1
全 国	73.7	23.1	1.8

質問(60)：今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか

区分	全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した	書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた	書く問題は全く解答しなかった
稚内市	58.4	35.4	6.2
全 国	57.8	36.6	5.2

※「□その他」の質問は、回答に「その他」、「無回答」がある場合、割合の合計が100%とならないことがあります。

(3) 質問紙調査票の項目と正答率との関係

① 小学校調査(抜粋)

質問番号	質問事項	平均正答率	
		肯定	否定
(1)	朝食を毎日食べていますか	65.2	53.2
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	65.8	58.4
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	66.0	48.1
(4)	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	63.0	51.2
(17)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	65.6	55.7
(18)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾、家庭教師、インターネットを活用した学習も含む)	64.6	58.9
(38)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	68.7	56.3

② 中学校調査(抜粋)

質問番号	質問事項	平均正答率	
		肯定	否定
(1)	朝食を毎日食べていますか	60.0	46.2
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	59.4	43.0
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	56.0	48.3
(4)	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	55.8	37.8
(17)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	66.6	54.0
(18)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾、家庭教師、インターネットを活用した学習も含む)	63.2	49.2
(38)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	65.9	52.0

- ☞ 規則正しい生活習慣は学力にも良い影響を与えています。
- ☞ 家庭での学習習慣づけが重要です。
- ☞ スマートフォンや携帯電話の使用ルールや約束ごとを守ることが大切です。

「規則正しい生活習慣の育成」、「家庭学習の習慣化」は、学校での指導に加え、各家庭との一層の連携・協力が必要です。

(4) 学校調査 (質問紙調査)

① 小学校調査(抜粋)

質問番号	質問事項	肯定	
		稚内市	全国
(57)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	100.0	82.2
(47)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価基準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用など、組織的かつ計画的な取組をしましたか	100.0	84.4
(68)	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか	100.0	84.8
(8)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	100.0	85.3
(36)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	100.0	88.1
(87)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか	100.0	89.4
(53)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えをそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする授業を行いましたか	100.0	89.6
(33)	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	100.0	89.9
(33)	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	100.0	89.9
(58)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、具体的なものを操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか	100.0	91.9
(52)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行いましたか	100.0	92.8
(60)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、問題の解き方や考え方の過程が分かるように工夫してノートを書く指導を行いましたか	100.0	92.9
(43)	調査対象学年の児童に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っていますか	100.0	93.3
(61)	調査対象学年の児童に対する英語の指導に当たって、前年度までに、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合う(対話的な)活動に取り組みましたか	100.0	93.5
(20)	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	100.0	94.2
(42)	調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っていますか	100.0	94.5



質問 番号	質問事項	肯定	
		稚内市	全国
(9)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	100.0	94.6
(55)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	100.0	94.6
(86)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組みとして、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしてましたか	100.0	95.5
(82)	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	100.0	95.7
(46)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童のよい点や改善点などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしましたか	100.0	96.6
(35)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童の発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	100.0	96.6
(10)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習規律（他の人が話をしている時はしっかりと聞く、授業開始のチャイムを守るなど）を維持しましたか	100.0	96.9
(59)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、公式やきまり、計算の仕方などを指導するとき、児童がそのわけを理解できるように工夫していましたか	100.0	97.1
(16)	学校として、業務改善に取り組んでいますか	100.0	97.5
(23)	授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	100.0	98.1
(48)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	100.0	98.3
(22)	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	100.0	98.5
(11)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行いましたか	100.0	98.7
(17)	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	90.0	98.7
(44)	調査対象学年の児童に対して、特別の教科道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか	90.0	97.0
(27)	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか	90.0	96.4
(21)	言語活動について、国語科だけでなく、各教科、特別の教科道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	90.0	95.6
(18)	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	90.0	94.4

質問 番号	質問事項	肯定	
		稚内市	全国
(54)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり自分の考えを広げたりする授業を行いましたか	90.0	93.9
(19)	児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	90.0	93.6
(51)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業を行いましたか	90.0	91.4
(41)	調査対象学年の児童に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	90.0	90.7
(85)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか	90.0	90.6
(7)	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	90.0	88.5
(34)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	90.0	87.7
(81)	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	90.0	85.7
(49)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	90.0	85.4
(29)	調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	90.0	85.3
(26)	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	90.0	84.6
(24)	児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	90.0	82.4
(31)	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	90.0	82.4
(37)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	90.0	81.4
(62)	学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会などを十分に設けていますか	90.0	67.6
(56)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	90.0	67.1
(76)	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに調査対象学年の児童に対する授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたか	80.0	94.4
(63)	コンピュータなどのICT機器やネットワークの観点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができていますか	80.0	90.4
(28)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	80.0	87.4

② 中学校調査(抜粋)

質問 番号	質問事項	肯定	
		稚内市	全国
(15)	学校として、必要な場合に、変改に柔軟に対応していますか	100.0	99.4
(10)	調査対象学年の生徒に対して、前年までに、学習規律（他の人が話をしている時はしっかりと聞く、授業開始のチャイムを守るなど）を維持しましたか	100.0	98.8
(11)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行いましたか	100.0	98.6
(17)	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	100.0	98.0
(8)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	100.0	97.9
(44)	調査対象学年の生徒に対して、特別の教科道徳において、生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか	100.0	97.9
(22)	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	100.0	97.2
(27)	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか	100.0	96.8
(59)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠が理解できるように工夫雨していましたか	100.0	96.5
(16)	学校として業務改善に取り組んでいますか	100.0	96.0
(7)	調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	100.0	96.0
(35)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	100.0	95.1
(51)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業を行いましたか	100.0	94.8
(53)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり、表現を工夫して書いたりする授業を行いましたか	100.0	94.3
(42)	調査対象学年の生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っていますか	100.0	93.9
(23)	授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	100.0	93.9
(61)	調査対象学年の生徒に対する英語の指導に当たって、前年度までに、英語で話したり書いたりして、生徒自身が互いの考えや気持ちを伝え合う（対話的な）活動に取り組みましたか	100.0	93.3
(9)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	100.0	92.7
(19)	生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	100.0	92.7

質問 番号	質問事項	肯定	
		稚内市	全国
(54)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりする授業を行いましたか	100.0	92.7
(55)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	100.0	92.7
(43)	調査対象学年の生徒に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の生徒が意思決定できるような指導を行っていますか	100.0	92.1
(86)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法等を挙げながら教えるようにしましたか（教科共通）	100.0	91.9
(18)	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	100.0	90.6
(49)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	100.0	86.5
(20)	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	100.0	84.6
(50)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	100.0	72.9
(78)	前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	100.0	65.1
(77)	前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	100.0	65.0
(48)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業の中で目標（めあて・ねらい）を生徒に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	85.8	97.8
(45)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かすことを心がけましたか	85.7	95.8
(46)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒のよい点や改善点などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしましたか	85.7	95.7
(21)	言語活動について、国語科だけでなく、各教科、特別の教科道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	85.7	94.3
(60)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、問題の解き方や考え方の過程が分かるように工夫してノートを書く指導を行いましたか	85.7	89.5
(62)	全国学力・学習状況調査の調査問題や結果を踏まえて、言語活動の充実などの授業改善や、定期考査問題やパフォーマンステストの改善などの学習評価の改善に取り組んでいますか	85.7	88.4

質問 番号	質問事項	肯定	
		稚内市	全国
(47)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価基準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用など、組織的かつ計画的な取組をしましたか	85.7	88.3
(52)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行いましたか	85.7	88.3
(81)	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	85.7	87.2
(87)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かしましたか（教科共通）	85.7	85.4
(82)	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	85.7	85.3
(41)	調査対象学年の生徒に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	85.7	88.1
(31)	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	85.7	86.6
(26)	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	85.7	84.5
(32)	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	85.7	83.6
(28)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	85.7	79.1
(57)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	85.7	78.1
(24)	生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	85.7	77.7
(58)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、観察や操作、実験などの活動を通して、数量や図形などの性質を見いだす活動を行いましたか	85.7	76.2
(25)	教員は、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか	85.7	75.6
(79)	平成 31 年度（令和元年度）の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校と成果や課題を共有しましたか	85.7	48.5

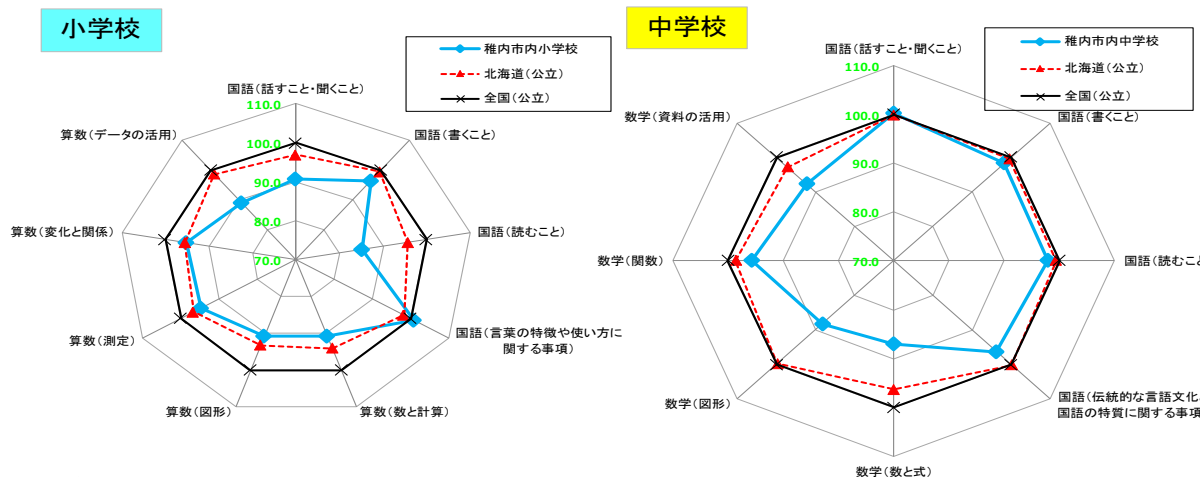
### 3 小中学校の状況及び学力向上策

※北海道教育委員会作成の「北海道版結果報告書」にも掲載されています。

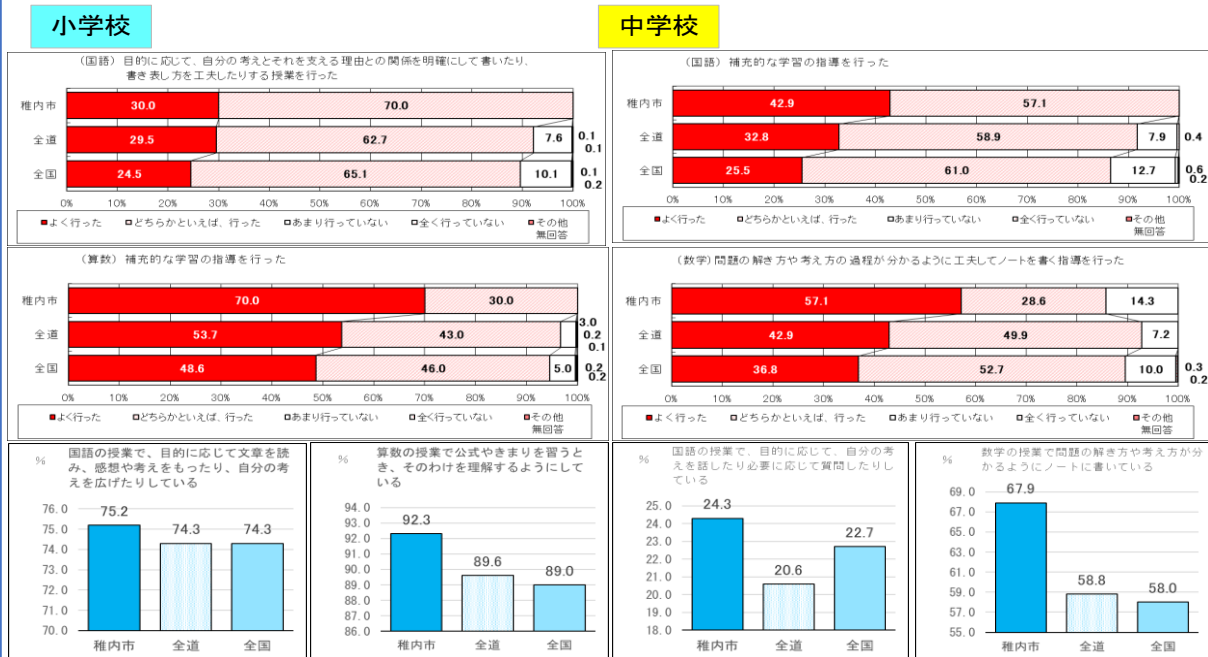
#### ■ 稚内市内の状況及び学力向上策 (小学校数: 10校、児童数: 222人) (中学校数: 7校、生徒数: 243人)

##### 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



##### 【質問紙の状況】



##### 【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校	中学校
<p>国語の授業において、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする授業を行ったことにより、「国語の授業で、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしている」と肯定的に回答した児童の割合及び「言葉の特徴や使い方にに関する事項」の領域が全国を上回ったと考えられる。</p> <p>算数の授業において、補充的な学習の指導を行ったことにより、「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」と肯定的に回答した児童の割合が全国を上回り、「測定」の領域が全国に最も近付いたと考えられる。</p>	<p>国語の授業において、補充的な学習の指導を行ったことにより、「国語の授業で、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている」と回答した生徒の割合及び「話すこと・聞くこと」の領域が全国を上回ったと考えられる。</p> <p>数学の授業において、問題の解き方や考え方の過程が分かるように工夫してノートを書く指導を行ったことにより、「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」と回答した生徒の割合が全国を上回り、「関数」の領域が全国に最も近付いたと考えられる。</p>

##### 【稚内市の学力向上策】

(検証改善サイクルや望ましい学習習慣の確立に向けた取組、小中連携の取組等)

- ◎ 学校教育指導員(退職教員等)による「放課後学力ガングン塾」の実施
- ◎ ICT機器活用の推進
- ◎ 土曜授業の推進
- ◎ 学びの連続性を確保するための小中連携教育の推進



令和 3 年度  
全国学力・学習状況調査結果  
～概要と課題、そして改善に向けて～

令和3年12月作成

稚内市教育委員会学校教育課学校教育グループ

〒097-8686 稚内市中央3丁目13番15号

電話 0162(23)6519 FAX 0162(22)7913